

聴覚障がいの早期発見と早期支援 ～新生児聴覚検査費助成事業～

●事業目的

新生児期に聴覚検査を実施し、先天性聴覚障がいを生後早期に発見することで、早期の支援による発達促進につながる。検査費用は保険適用外であるため、新生児聴覚検査費用の自己負担金の助成を行い、すべての新生児に検査をより受けやすくすることで、早期に聴覚障がいを発見し、早期の支援による発達促進を図ることを目的とする。

●事業概要

新生児聴覚検査は、自動聴性脳幹反応検査（自動 ABR）か耳音響放射検査（OAE）のどちらかが入院中に行われることが多く、1 回目の検査でリファ（要再検査）となった場合は、退院までに確認検査が行われる。検査費用は、保険適用外で自己負担となるため、自動聴性脳幹反応検査（自動 ABR）は1 回につき 6,700 円、耳音響放射検査（OAE）は1 回につき 3,000 円をそれぞれ上限として、初回検査及び確認検査それぞれにつき1 回を助成する。

●令和7年度当初予算

7,706 千円

